

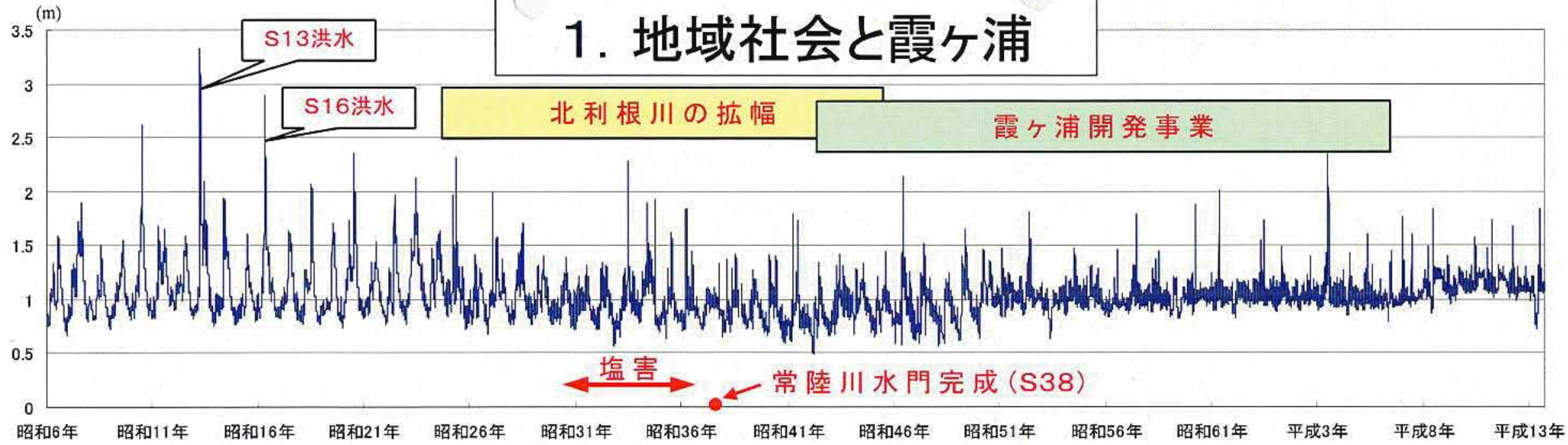
環境教育・住民参加に関する基礎資料

1. 地域社会と霞ヶ浦

2. 地域と連携した川づくりに関する制度について

3. 霞ヶ浦流域の将来に向けて

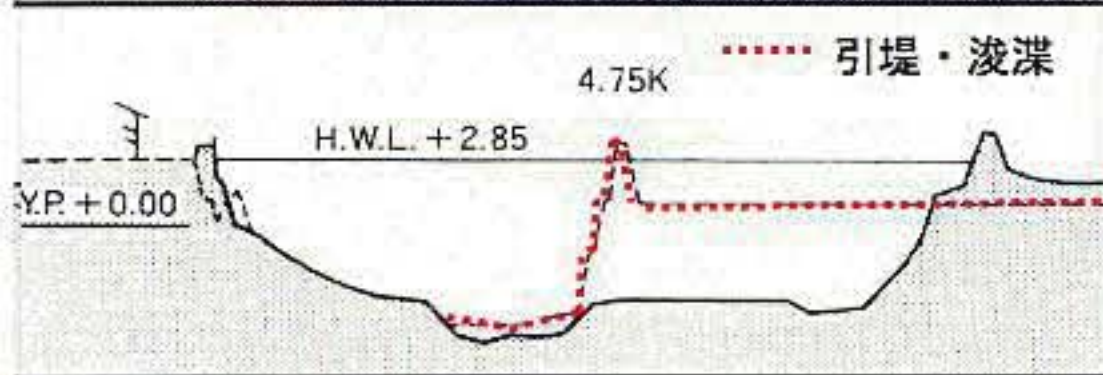
1. 地域社会と霞ヶ浦



昭和13年洪水



北利根川引堤・浚渫



▲ 塩害新聞記事



▲ 研究学園都市 (つくば市)

▼ 鹿嶋工業地帯 (鹿嶋市)

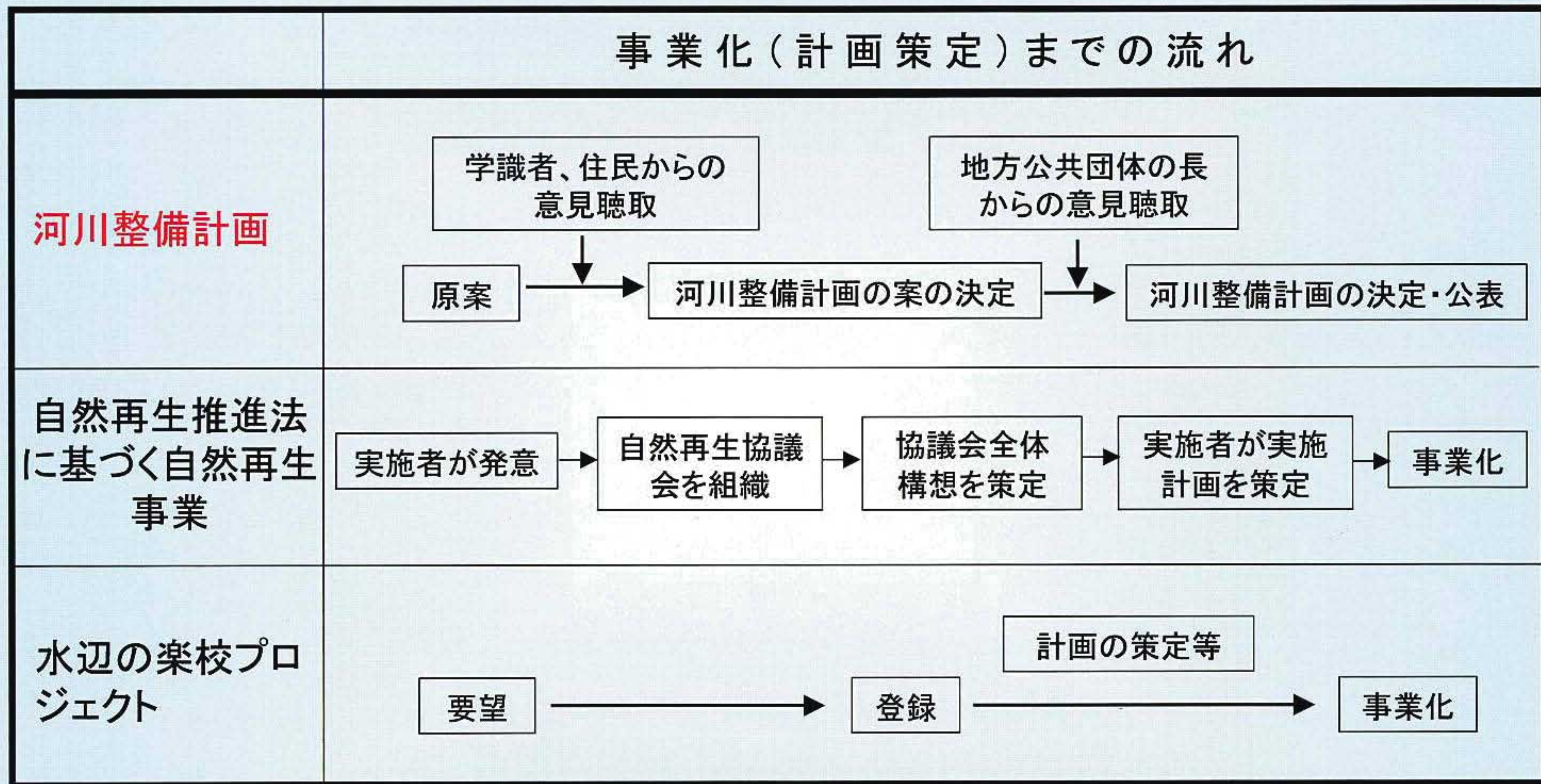


常陸川水門

湖岸堤 (施工後)



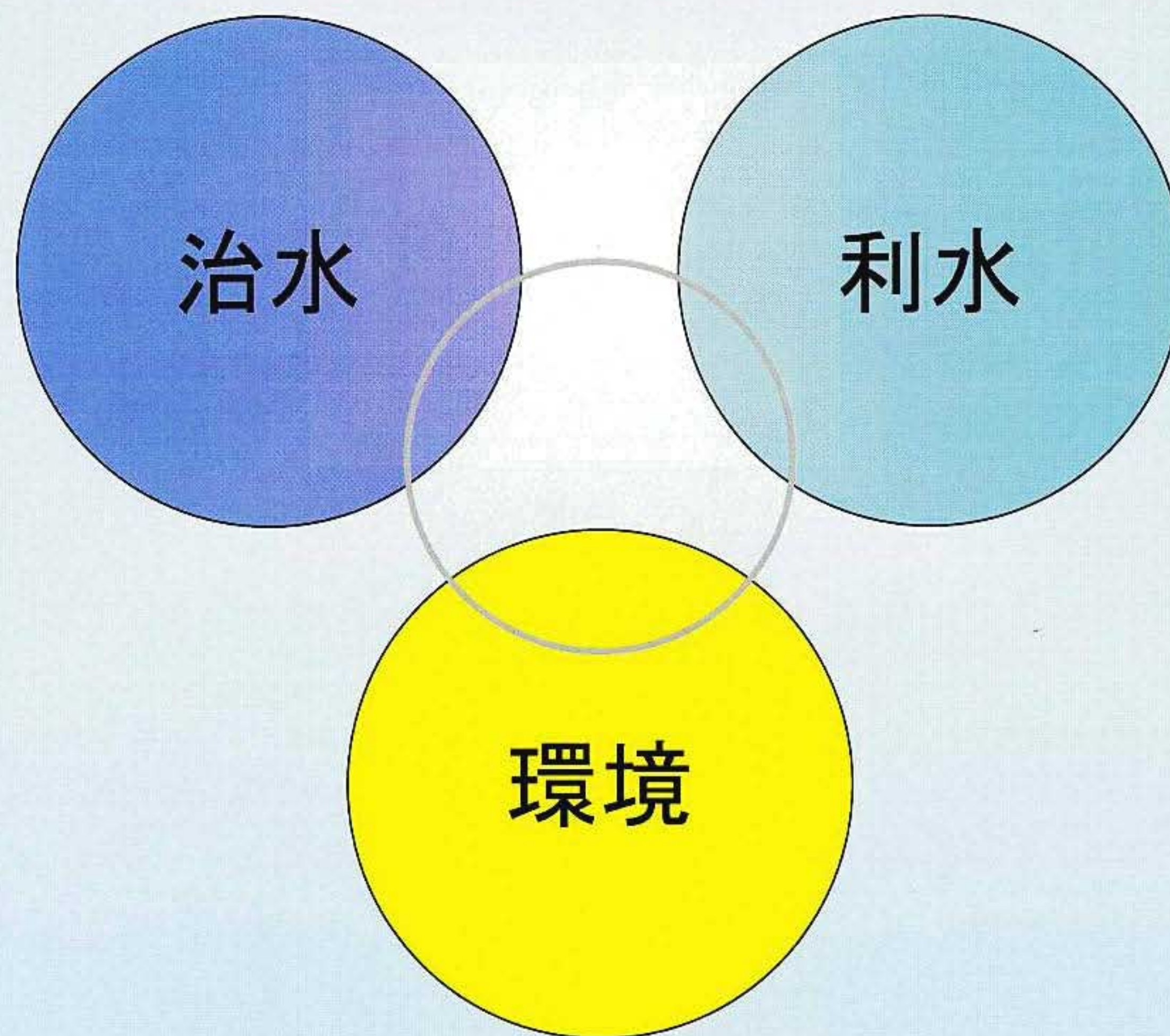
2. 地域と連携した川づくりに関する制度について



※ その他 ふるさとの川整備事業、水と緑のネットワーク等

河川整備計画(平成9年 河川法改正)

- 治水、利水、環境の総合的な河川計画
- 河川環境の整備と保全
- 地域の意見を反映した河川整備の計画制度の導入



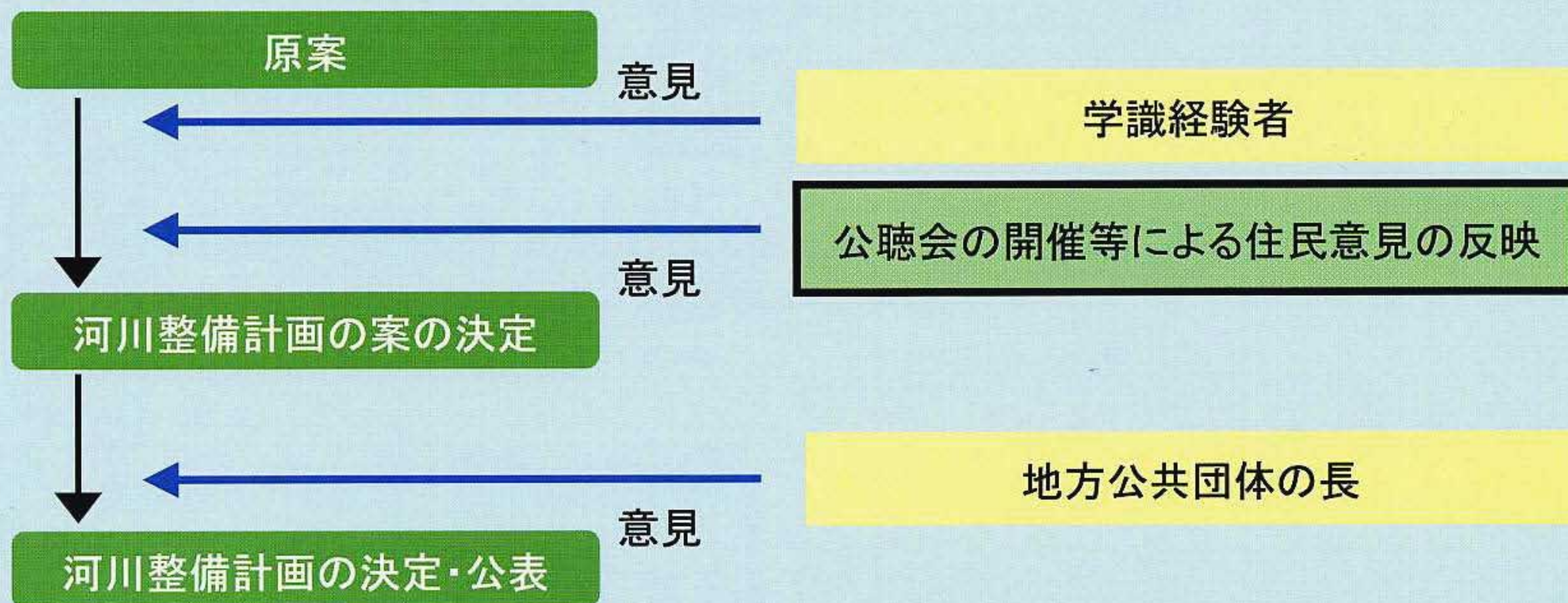
河川整備計画について

- ・今後20～30年間の具体的・段階的な計画
- ・河川整備の目標、河川整備の実施に関する事項等を定める

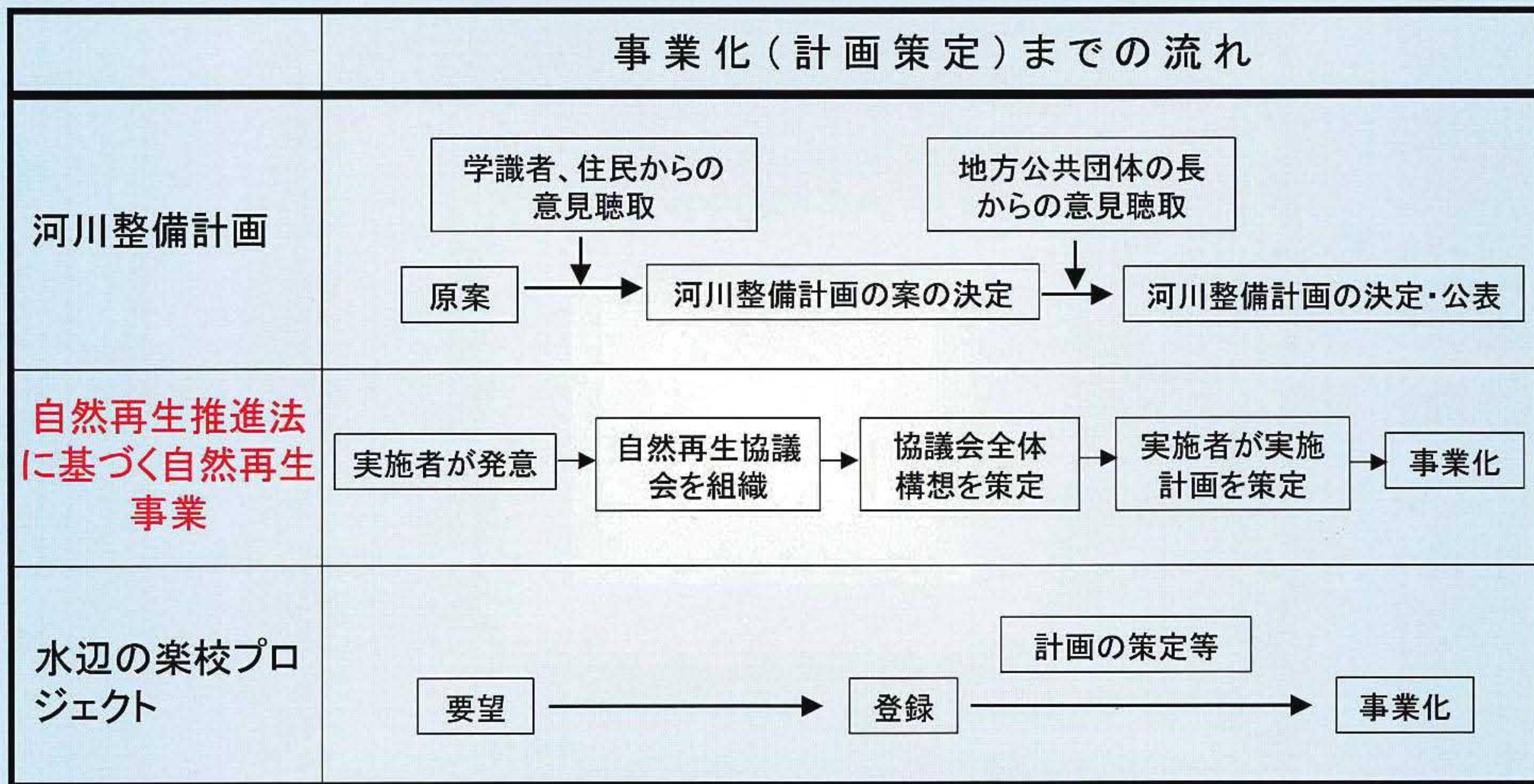
河川整備計画策定フロー図

内容 → 河川整備の目標

河川工事、河川の維持の内容



2. 地域と連携した川づくりに関する制度について



※ その他 ふるさとの川整備事業、水と緑のネットワーク等

自然再生事業

自然再生基本方針

自然再生を総合的に推進するための基本方針・・・政府が策定
(環境大臣が、農林水産大臣及び国土交通大臣と協議して案を作成し、閣議決定)
～概ね5年ごとに見直し～

全体構想 (協議会が作成)

実施計画

[協議会での協議結果に基づき実施者が作成]
実施者：行政機関、地方公共団体、NPO等

送付

助言

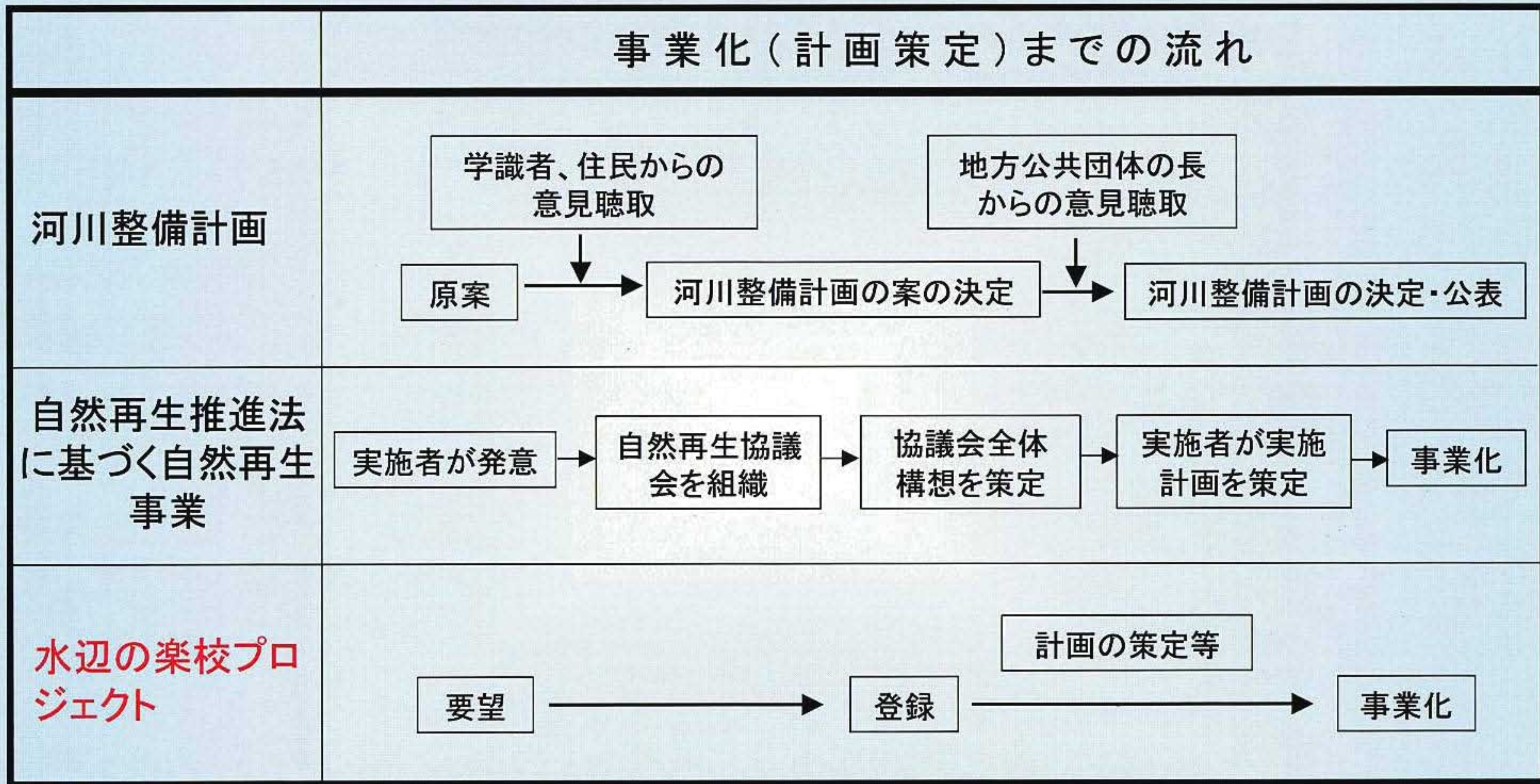
実施計画(全体構想含む)公表

自然再生事業の実施

関係都道府県知事
主務大臣(環境、農林水産、国土交通)

自然再生協議会メンバー(実施者を含む)
○行政事業に参画する地域住民、NPO、専門家、土地所有者等
○行政：関係地方公共団体、関係行政機関

2. 地域と連携した川づくりに関する制度について



※ その他 ふるさとの川整備事業、水と緑のネットワーク等

水辺の楽校プロジェクト

(1) 水辺の楽校プロジェクトとは

地域の身近な水辺における**環境学習・自然体験活動**のより一層の推進を図るため、**市民団体、河川管理者、教育関係者**等が一体となった活動を展開するために河川整備が必要と認められる場合、当該箇所を「水辺の楽校」として登録し、河川管理者が水辺の整備を実施。



▲ 施設概念図



身近な環境教育の場として生物調査、水質調査、写生、安全教育訓練、河川構造物の機能の学習等に活用

(2) 霞ヶ浦における取り組み

○霞ヶ浦ふれあい和田岬

- ・子ども達の水辺の遊び、学習を支える仕組みをつくり、併せて自然の状態を極力残しながら、アクセス施設等の整備を行い、子ども達が自然と出会える安全な水辺をつくる。

○水辺の楽校協議会メンバー

- ・教育関係者(教育委員会、学校関係者)、桜川村子供会、桜川村、国土交通省等

〔 学習・交流施設 〕

◎ 水の交流館

（霞ヶ浦インフォメーションセンター）



〔 市民とともに水質浄化を行う施設 〕

◎ 土浦ビオパーク

◎ 潮来トンボ公園



〔 「水」をテーマとした、見て・触れて・科学するテーマパーク 〕

◎ 霞ヶ浦ふれあいランド



霞ヶ浦意見交換会

(1) 目的

霞ヶ浦の治水・利水・環境・その他についての今後のあり方について、流域住民や霞ヶ浦について研究している団体及び関係行政機関等が一堂に会して、幅広い意見交換・情報交換を行うために設置。

(2) 経緯

第1回から第6回までに約900名の方々が参加し、74名の方々が話題を提供。

	テーマ	話題提供者	参加者
第1回霞ヶ浦意見交換会		15名	約140名
第2回霞ヶ浦意見交換会		12名	約120名
第3回霞ヶ浦意見交換会	水位	9名	約130名
第4回霞ヶ浦意見交換会	生態系	11名	約190名
第5回霞ヶ浦意見交換会	水質	15名	約180名
第6回霞ヶ浦意見交換会	産業・観光	12名	約140名

霞ヶ浦流域の未来に向けて



霞ヶ浦



地域の財産として守っていくためには...

流域一体となった取り組みが必要不可欠

第7回霞ヶ浦意見交換会

ミリオンズレイク

霞ヶ浦『百万人の湖』

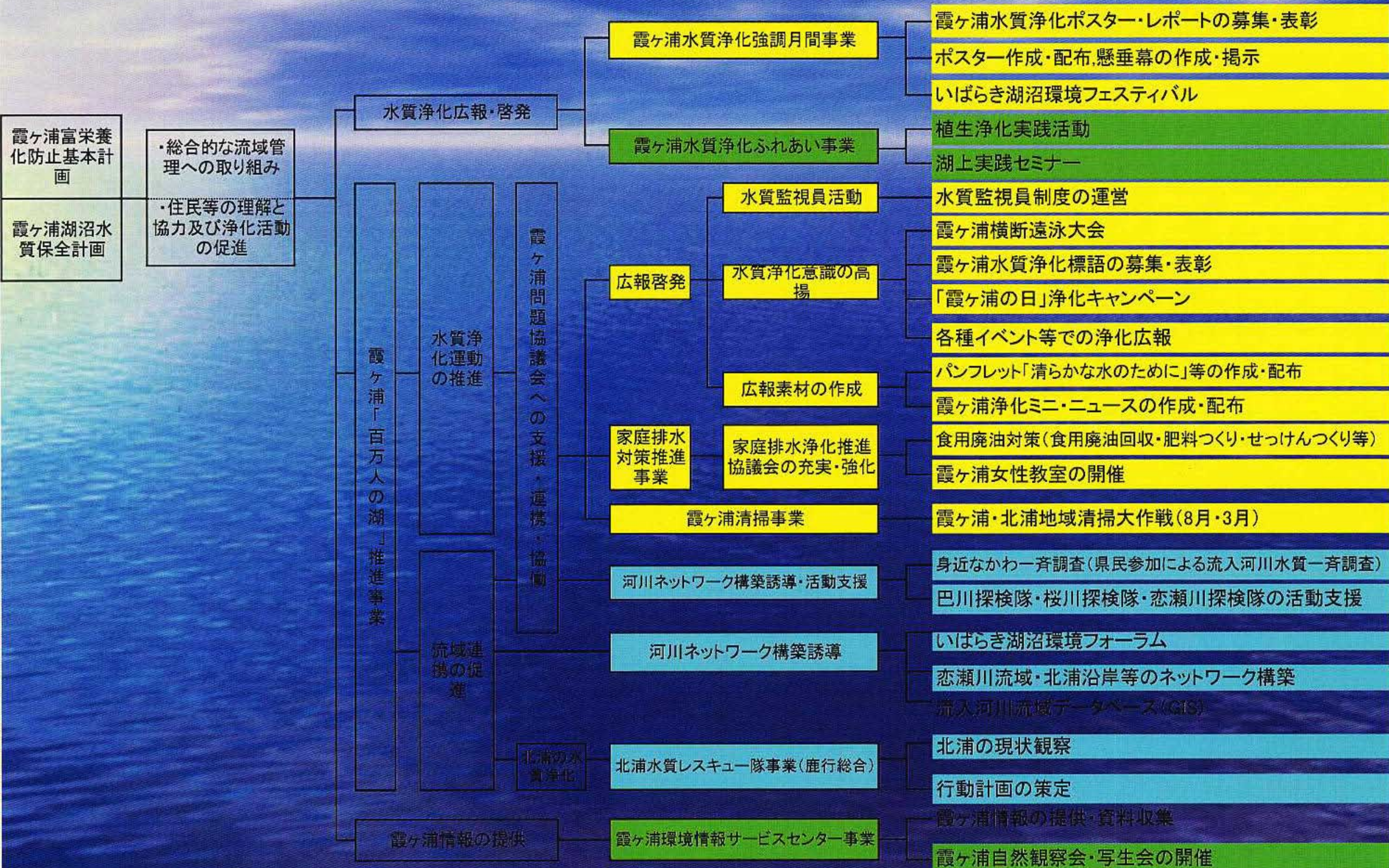


平成15年11月22日

霞ヶ浦対策課

ミリオンズレイク

霞ヶ浦『百万人の湖』関係事業



《水質浄化運動の推進》

●霞ヶ浦水質浄化ポスター・ジュニアレポート・標語の募集・表彰



●霞ヶ浦・北浦清掃大作戦



●家庭排水浄化推進協議会の活動

私たちにできる霞ヶ浦浄化対策10ヶ条

～霞ヶ浦の汚れの大半は、生活排水です～

みんなで次のことを守り、霞ヶ浦の水質浄化に努めましょう。

1. 台所には、目の細かいストレーナーまたは三角コーナーの設置や紙を使うなど工夫しましょう。
2. 天ぷらなどの油は、使い切るが、新聞や紙などにしみ込ませたり、固化剤で固めたりしてごみとして出しましょう。
また、リサイクルの一端として地域単位で廃油を収集できる場合は、回収を推進しましょう。
3. なべや皿の汚れは、ゴムベラで落したり、紙でふいてから洗いましょう。
4. 台所の調理くず等は、コンポストなどで堆肥にして使いましょう。
5. 朝シャンや車の洗車は、できるだけ減らし、水の使用量を減らしましょう。
6. 水路や側溝などを定期的に清掃しましょう。
7. 川や湖に、ごみを捨てないようにしましょう。
8. 庭木や草花、菜園などへの肥料や農薬は、使い過ぎないようにしましょう。
9. 下水道への接続や合併処理浄化槽の設置を促しましょう。
10. 浄化槽は定期的に点検し、清掃、検査をしましょう。

《体験型啓発活動》

●ヨシを植えて霞ヶ浦をきれいに！



●湖上で霞ヶ浦体験



《流域の連携促進》

●身近なかわ水質一斉調査



●北浦水質レスキュー隊の活動



●河川における流域連携（巴川・桜川・恋瀬川探検隊）



《(仮称)霞ヶ浦環境センターへの継承》



霞ヶ浦環境センターの 4つの機能

- ①調査研究・技術開発
- ②環境学習の機会や場の提供
- ③市民活動との連携・支援
- ④交流促進、情報収集・蓄積・発信の拠点



ミリオンズレイク

《霞ヶ浦『百万人の湖』の創造に向けて》



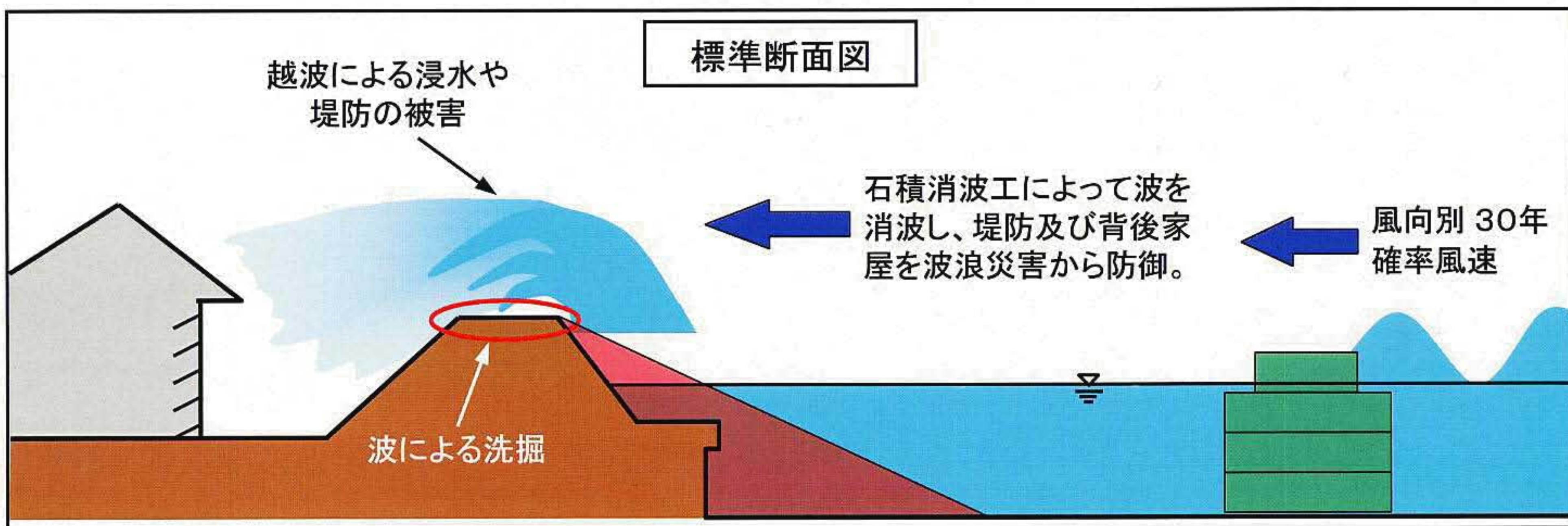
平成3年10月(台風21号)洪水被災状況

外浪逆浦三之分目地先(最大風速18.1m/s)



(1) 波浪対策の設置目的

吹送距離が長いことにより発生する強い波から、堤防や周辺民家への被害を防除することを目的としている。



西浦 手賀地区
(行方郡玉造町)

霞ヶ浦における波浪状況



▼ H10. 9. 16 台風5号
北浦（鹿嶋市）

▲ H15. 8. 9 台風10号
西浦（行方郡玉造町）



A photograph of a coastal area. In the foreground, a long, low breakwater or pier extends from the shore into the water. The structure is made of concrete blocks and is covered with green vegetation. The water is calm, and the sky is overcast. In the background, there are some buildings and a hill.

石積みによる矩形形状の解消



水位管理試験運用案

1年間（12カ月）の管理目標水位

水位

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

Y.P.+1.50m

Y.P.+1.30m

Y.P.+1.20m

Y.P.+1.00m

H10水位

Y.P.+0.50m

Y.P.+0.00m

2月～5月までのあ
る時点YP+1.3m
を確保

--- 利水のための上限水位

— 水位管理試験水位

霞ヶ浦湖岸植生帯緊急保全対策



霞ヶ浦湖岸植生帯の緊急保全対策評価検討会

◎ 目 的

平成12、13年度に整備した霞ヶ浦湖岸植生帯の緊急保全対策について、モニタリング調査結果に基づいた評価を行うことを目的として設置。

平成15年10月20日に「第1回霞ヶ浦湖岸植生帯の緊急保全対策評価検討会」を開催。

■ 委員構成

	氏 名	所 属
座 長	椎貝 博美	(社)日本河川協会会長
	佐藤 慎司	東京大学大学院工学系研究科教授
	池田 駿介	東京工業大学工学部土木工学科教授
	角野 康郎	神戸大学理学部生物学科教授
	佐々木 寧	埼玉大学工学部建設工学科教授
	花里 孝幸	信州大学山地水環境教育研修センター長

事務局	前村 良雄	国土交通省霞ヶ浦河川事務所長
	横田 雅良	独立行政法人水資源機構霞ヶ浦開発総合管理所長